

働く人の

ココロとカラダを

HCMIconsortium Private Seminar

サポートするテクノロジー

2022.9.27 [火] 14:00-17:00

主催 HCMIconsortium

対象者 HCMIconsortium会員様

開催方法 オンライン開催

参加費 無料



事前参加登録はこちらのフォームか二次元バーコードよりお申し込みください。 <https://forms.office.com/r/j9YmM4HnsH>

14:00-16:30

講演【40分×3講演(質疑応答含む)+休憩】

講演
1



スマートスーツ®で軽労化®

講師 鈴木 善人(すずき よしひと)

株式会社スマートサポート 代表取締役

講演
2



プレゼンティーズムによる経営・事業への影響と、その対策による効果事例

講師 山岡 明広(やまおか あきひろ)

株式会社バックテック コーポレートチーム

コラボヘルス/健康経営コンサルタント、フィールドセールス、カスタマーサクセス

講演
3



テクノロジーでヒトのキモチを解き明かす。

講師 川原 伊織里(かわはら いおり)

株式会社リトルソフトウェア 代表取締役CEO

16:30-17:00

パネルディスカッション

講演者紹介



「スマートスーツ[®]で軽労化[®]」

鈴木 善人 (すずき よしひと)

肩書 代表取締役

ご略歴 農業コンサルティングの株式会社リープス代表取締役、農林水産物の地理的表示保護制度の北海道ブロックアドバイザー、国際開発コンサルティングの一般社団法人 The Earth Cafe 代表理事

日本の少子高齢化が加速するなかで、今、高齢者の積極雇用が推奨されています。一方で加齢による体力低下は社会に出て働いている高齢労働者の労災の原因にもなり、雇用者にとっては労災リスクでもあります。スマートスーツ[®]は身体にかかる負担と疲労を軽減しつつ、労働による運動刺激やトレーニング効果も得ること、すなわち軽労化[®]を開発コンセプトとしています。助けすぎないパッシブなアシスト力で腰痛や転倒などの高齢者に特有な労災を予防しつつ、労働の持続可能性を高めることで、高齢労働者に優しい労働環境を提案しています。



「プレゼンティーズムによる経営・事業への影響と、その対策による効果事例」

山岡 明広 (やまおか あきひろ)

肩書 コラボヘルス/健康経営コンサルタント、カスタマーサクセス、フィールドセールス

ご略歴 北海道大学総合化学院、株式会社バックテック(現職)、株式会社リクルート(法人営業・カスタマーサクセス)

1992年に経営心理学者R・H・ローゼンによる著書「The Healthy Company」の出版を境に、「健康経営」はその認知と取り組みが盛んになりました。日本では2014年より経済産業省が主導の下で、認定制度などの取り組みがはじまり、今日では「健康経営優良法人」の認定企業数が14,554社(うち大規模法人部門は2,299社)にまで拡大しました。企業ブランドや株主への好影響などの効果が示唆されている「健康経営」ですが、その施策は各社様々であり、良い方法を模索中といった様相です。そこで本講演では「経営」と「健康」を結ぶ指標として、プレゼンティーズム*に着目し、その評価方法と評価に基づいた取り組みとその効果について、事例を踏まえて解説することで、より効果性の高い健康経営施策に繋がるエッセンスをご提供します。

*何らかの症状・疾病により、就業中に労働生産性が低下している状態。



「テクノロジーでヒトのキモチを解き明かす。」

川原 伊織里 (かわはら いおり)

肩書 代表取締役CEO

ご略歴 大手機械メーカー研究所勤務後渡独。帰国後米国ソフトウェア会社でR&D.、大学医学部や研究所の波形解析や脳波の研究に携わり、2014年起業。

脳波や生体センサーから取得できる信号には、ヒトのキモチや状態が多く含んでいます。脳波データから如何に感情を可視化するのか?どんなことが分かるのか?どんなことに使われているのか?そして、脳からの声が聞こえていますか?また、脳波から人のタイプを判定し、タイプ別にパフォーマンス向上させる方法とは?チーム作りにタイプ判定を有効に使う方法とは?など事例含めてお話しします。



国立研究開発法人 産業技術総合研究所 HCMIconソシアム事務局

〒135-0064 東京都江東区青海2-3-26 TEL:03-3599-8902 E-mail:hcmi_ml@aist.go.jp